

令和5年度 社会福祉法人長寿会事業報告書

令和5年度 長寿会事業概要

【事業運営】

令和5年度は、5月から新型コロナ感染が5類に類型変更されたが、高齢者施設は発症のリスクが高いため、マスク手洗い等の感染予防対策及び、面会等外部者との接触制限を継続して実施した。8月下旬から、職員、利用者にコロナ感染者が発症しており、施設はクラスター対応を行った。また、11月末から12月初旬にインフルエンザが集団発生し、入所者の行動制限や、感染まん延防止策を行った。発症時の集中した対応で、いずれも短期間で終息できた。デイサービスでも、利用者、職員に感染者はあったが、平常からの感染予防策を行っており、事業の継続ができた。これらコロナ禍での感染対策の経験は、今後の感染予防策及びBCP（事業継続計画）に活かせるものになった。

今後は、基本的感染予防策を徹底し、家族やボランティアとの交流を図ることができるようしていくこととする。

重点目標とした「安定した収入確保」については、施設、デイサービスとも、稼働率は目標値に至らなかったが、事業収入はいずれも増えている。施設は申込者を速やかに定期的に受け入れるよう努め、ショートステイの申し込みを積極的に受けた。デイサービスは、趣味活動を拡充してアピールし、重介護利用者を積極的に受け入れた。

情報発信については、デイサービスでは、行事活動の予定や様子を毎月発行して、利用者、居宅介護事業所等に配布しPRできた。施設は、担当する職員を決められず、実行できなかった。また定期的なホームページの更新も、次年度に持ち越している。

「魅力ある職場づくり」については、職員が協働してチームケアにあたるよう、各部署会議を定期的に行い、共通理解、協議を行った。また、研修の実施に力を入れた。各事業において年間計画に基づき、企画実施した。施設においては、介護労働安定センターの研修事業を活用し、チームケア向上に資するよう、リーダー研修、ストレスマネジメント研修を行った。

賃金改善については、年度末に示された賃金改善ための支援金申請を行い、手当の増額を行うとともに、処遇改善加算による一時金の支給を行った。

職員体制は、利用者数、退職者数に応じ新規採用を行っている。退職者は前年に比べ少なく、補充採用もできた。新規採用職員には、新人研修や、各部署で現場教育を実施しているが、施設介護職員は、新人育成の時間を要すこと、夜勤職員が限られていることから、依然、勤務調整が厳しい状況であった。また、包括サブセンター職員の定年により、介護支援専門員の資格所有の施設介護主任を3月から異動した。デイサービスは看護職員を新たに1名採用し、体制を整えた。

介護職員の新採用に当たっては、常勤変則時間勤務のできる職員の採用は難しく短時間勤務、補助業務にあたる職員採用となっている。ICT、介護機器導入とともに、業務見直しが必要である。目標にした機器導入や、業務改善は、まだ具体化できなかったが、

その方向性はこれからの事業継続に不可欠であり、次年度に継続して取り組んでいくこととする。

【決算の概要】

令和5年度の、法人全体のサービス活動収益は 380,577,836 円（前年度 372,462,205 円）で、前年度より 8,115,631 円増えた。サービス活動費用は 389,572,040 円（前年度 376,580,112 円）で 12,991,928 円増えている。

介護保険事業収入は増えたが、支出は、給食業務を一部委託から全面委託したことにより 1 千 7 百万余円が増え、当期活動収支差額は△7,576,119 円となった。前年度△2,868,677 円に引き続き、マイナス決算になったが、6年度介護報酬改定に合わせ、目標稼働率を目指すことで、回復を図りたい。

令和5年度社会福祉充実残高（内部留保）に該当する金額はない。

令和5年度 社会福祉法人長寿会事業報告書

1 法人の概要

主たる事務所の所在地	山口県山陽小野田市大字小野田 11324 番地 10
代表者（理事長）の氏名	長 澤 孝 明
法人の認可年月日及び番号	昭和52年9月28日 厚生省社第803号
設立登記年月日	昭和52年10月13日

2 法人の事業の内容

(令和6年3月31日)

事業の種類	施設の種類	事業開始年月日	定員	職員数
第一種 社会福祉事業	特別養護老人ホーム長寿園	昭和53年4月1日	82人	50(9)人 (医師1含む)
第二種 社会福祉事業	老人短期入所事業	昭和55年4月1日	8人	
	老人デイサービスセンター	昭和59年12月1日	30人	10(2)人
	老人居宅介護等事業	平成2年1月1日 令和2年4月1日廃止		
	老人介護支援センター	平成3年1月1日		
公益事業	居宅介護支援事業 地域包括支援センター事業 介護予防・日常生活支援総合事業	(認可年月日) 平成27年12月11日 平成27年12月11日 平成29年4月1日		3人 2人
収益事業	なし			
				() 書きは非常勤職員の再掲
				65(11)人

介護保険事業者指定の内容

事業の区分	事業の種類	定員	初回指定年月日	指定の更新年月日
指定居宅介護支援事業	居宅介護支援		平成 12 年 4 月 1 日	令和 2 年 4 月 1 日
指定居宅サービス事業	通所介護	30 人	平成 12 年 4 月 1 日	令和 2 年 4 月 1 日
	短期入所生活介護	8 人	平成 12 年 4 月 1 日	令和 2 年 4 月 1 日
	介護予防短期入所生活介護		平成 18 年 4 月 1 日	令和 2 年 4 月 1 日
指定介護保険施設	介護老人福祉施設	82 人	平成 12 年 4 月 1 日	令和 2 年 4 月 1 日
指定山陽小野田市総合事業	予防給付型通所介護相当サービス		平成 30 年 4 月 1 日	—

委託事業等の状況

委託者	事業名
山陽小野田市	施設入浴サービス事業 緊急時短期入所サービス事業 地域包括支援サブセンター運営事業 要介護認定調査事業 介護予防支援業務
宇部市	予防給付ケアマネジメント
社会福祉法人純心聖母会 (令和 5 年 12 月 31 日迄)	外部サービス利用型特定施設入所者生活介護における居宅介護サービス（指定通所介護）

3 定款変更の状況

審議日程	申請年月日	認可年月日	変更内容
なし			

4 役員の状況

理事、監事の改選と、理事長の選任を行った。

(年度末 順不同)

	役職名	氏名	年齢	当初就任年月日	現就任年月日	任期
1	理事長	長澤孝明	74	平成 20 年 4 月 1 日	令和 5 年 6 月 21 日	令和 7 年度の定時評議員会の終結の時まで
2	理事	長澤英明	73	令和 3 年 6 月 23 日	令和 5 年 6 月 21 日	
3	"	西野 彰	83	平成 14 年 4 月 1 日	令和 5 年 6 月 21 日	
4	"	白石千代	74	令和元年 6 月 19 日	令和 5 年 6 月 21 日	
5	"	平原廉清	82	平成 26 年 4 月 1 日	令和 5 年 6 月 21 日	
6	業務執行理事	上村篤子	68	平成 24 年 4 月 1 日	令和 5 年 6 月 21 日	
計		6 人				
1	監事	田村嘉輝	72	平成 24 年 4 月 1 日	令和 5 年 6 月 21 日	令和 7 年度の定時評議員会の終結の時まで
2	"	田所 栄	70	平成 29 年 6 月 22 日	令和 5 年 6 月 21 日	
計		2 人				
1	評議員	秋本和美	72	平成 20 年 4 月 1 日	令和 3 年 6 月 23 日	令和 7 年度の定時評議員会の終結の時まで
2	"	中島嘉哉	66	平成 22 年 4 月 1 日	令和 3 年 6 月 23 日	
3	"	為近美代子	74	平成 26 年 4 月 1 日	令和 3 年 6 月 23 日	
4	"	山本成美	72	平成 26 年 4 月 1 日	令和 3 年 6 月 23 日	
5	"	井上弘志	68	令和 3 年 6 月 23 日	令和 3 年 6 月 23 日	
6	"	内田八重子	67	令和 3 年 6 月 23 日	令和 3 年 6 月 23 日	
7	"	井上修	70	令和 3 年 6 月 23 日	令和 3 年 6 月 23 日	
8	"	渡邊朱美	64	令和 3 年 6 月 23 日	令和 3 年 6 月 23 日	
計		8 人				

5 会議の開催状況

開催年月日	出席者	欠席者	議 題
5.5.31 理事会	理事6人 監事2人	0人 0人	<p>議案第1号 令和4年度長寿会(本部)事業報告について</p> <p>議案第2号 令和4年度長寿会(本部)決算報告について</p> <p>議案第3号 令和4年度長寿園(施設)事業報告について</p> <p>議案第4号 令和4年度長寿園(施設)決算報告について</p> <p>議案第5号 令和4年度デイサービス施設明寿香園事業報告について</p> <p>議案第6号 令和4年度デイサービス施設明寿香園決算報告について</p> <p>議案第7号 令和4年度居宅介護支援事業報告について</p> <p>議案第8号 令和4年度在宅介護支援センター事業報告について</p> <p>議案第9号 令和4年度在宅介護支援センター会計(居宅介護支援事業含む)決算報告について</p> <p>議案第10号 社会福祉法人長寿会理事の推薦について(長澤孝明)</p> <p>議案第11号 社会福祉法人長寿会理事の推薦について(長澤英明)</p> <p>議案第12号 社会福祉法人長寿会理事の推薦について(白石千代)</p> <p>議案第13号 社会福祉法人長寿会理事の推薦について(西野彰)</p> <p>議案第14号 社会福祉法人長寿会理事の推薦について(平原廉清)</p> <p>議案第15号 社会福祉法人長寿会理事の推薦について(上村篤子)</p> <p>議案第16号 社会福祉法人長寿会監事の推薦について(田村嘉輝)</p> <p>議案第17号 社会福祉法人長寿会監事の推薦について(田所栄)</p> <p>その他</p>
5.6.21 定時評議員会	委員6人 監事2人	2人 0人	<p>議案第1号 令和4年度長寿会(本部)事業報告について</p> <p>議案第2号 令和4年度長寿会(本部)決算報告について</p> <p>議案第3号 令和4年度長寿園(施設)事業報告について</p> <p>議案第4号 令和4年度長寿園(施設)決算報告について</p> <p>議案第5号 令和4年度デイサービス施設明寿香園事業報告について</p> <p>議案第6号 令和4年度デイサービス施設明寿香園決算報告について</p> <p>議案第7号 令和4年度居宅介護支援事業報告について</p> <p>議案第8号 令和4年度在宅介護支援センター事業報告について</p> <p>議案第9号 令和4年度在宅介護支援センター(居宅介護支援事業を含む)決算報告について</p> <p>議案第10号 社会福祉法人長寿会理事の選任について(長澤孝明)</p> <p>議案第11号 社会福祉法人長寿会理事の選任について(長澤英明)</p> <p>議案第12号 社会福祉法人長寿会理事の選任について(白石千代)</p> <p>議案第13号 社会福祉法人長寿会理事の選任について(西野彰)</p> <p>議案第14号 社会福祉法人長寿会理事の選任について(平原廉清)</p> <p>議案第15号 社会福祉法人長寿会理事の選任について(上村篤子)</p> <p>議案第16号 社会福祉法人長寿会監事の選任について(田村嘉輝)</p> <p>議案第17号 社会福祉法人長寿会監事の選任について(田所栄)</p> <p>その他</p>

5.6.21 理事会	理事 6 人 監事 2 人	0 人 0 人	議案第 1 号 理事長の選任について 議案第 2 号 業務執行理事の選任について その他
5.11.22 理事会	理事 6 人 監事 1 人	0 人 1 人	議案第 1 号 社会福祉法人長寿会給与規程の一部改正について 議案第 2 号 社会福祉法人長寿会経理規程の一部改正について 令和 5 年度上半期事業報告について その他
6.3.22 理事会	理事 6 人 監事 2 人	0 人 0 人	議案第 1 号 社会福祉法人長寿会給与規程の一部改正について 議案第 2 号 令和 6 年度長寿会（本部）事業計画について 議案第 3 号 令和 6 年度長寿会（本部）会計資金収支予算について 議案第 4 号 令和 6 年度長寿園（施設）事業計画について 議案第 5 号 令和 6 年度長寿園（施設）会計資金収支予算について 議案第 6 号 令和 6 年度デイサービス施設明寿香園事業計画について 議案第 7 号 令和 6 年度デイサービス施設明寿香園会計資金収支予算について 議案第 8 号 令和 6 年度居宅介護支援事業計画について 議案第 9 号 令和 6 年度在宅介護支援センター事業計画について 議案第 10 号 令和 6 年度在宅介護支援センター（居宅介護支援事業を含む）会計資金収支予算について 議案第 11 号 令和 6 年度社会福祉法人長寿会定時評議員会の開催について その他 令和 5 年度社会福祉法人長寿会決算見込みについて

6 監事監査の状況

監査年月日	監事氏名	指摘事項	改善状況
5.5.23	田村嘉輝 田所 栄	特になし	

7 行政実地指導の状況

監査年月日	指 摘 事 項	改 善 状 況
5.8.21	<p>【特別養護老人ホーム長寿園】 ○県長寿社会課 なし</p> <p>【社会福祉法人長寿会】 ○市高齢福祉課、指導監査室 (文書指摘)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会計処理について 令和3年度の決算処理に誤りがあった。専門家の支援を活用することを考えるとともに、職員のスキルアップに努める。 <p>(口頭指摘)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事会の運営について 招集通知を忘れずに出すこと。 ・経理について 経理規程を遵守し、適切な経理事務を行うこと。 	<p>令和5年12月から税理士事務所とコンサルタント契約をする。</p> <p>招集通知は必ず送付する。</p> <p>経理規程を改正し、適正な経理事務に努める。</p>

8 登記の状況

登記事項	登記年月日	内 容
1.資産の総額変更	令和5年6月26日	資算額 6億2,339万2,667円
2.理事長の選任	令和5年6月26日	長 澤 孝 明

9 規程の制定、変更の状況

審議年月日	施行日	制定、改正事項の概要内容	
5.11.22	5.10.1 適用	給与規程の一部改正	(改正内容) ① 最低賃金の改定による変更及び調理員の削除 介護職 1時間 930~1,400円 調理員 削除 その他の職員 1時間 930~1,500円
〃	5.8.1 適用		② 危険手当の創設 1日または1勤務 危険に応じて 1,000~5,000円 4時間以下の勤務 危険に応じて 500~2,500円
	5.11.22	経理規程の一部改正	(改正内容) ① 収納した金銭の保管期間の変更 収納後7営業日以内
6.3.22	6.2.1 適用	給与規程の一部改正	(改正内容) ① 処遇改善手当の変更 介護職員 15,500円 その他の職員 3,000円

10 資産（土地・建物）の状況

別紙1のとおり

11 借入金の状況

借入額	借入年月日	年度末借入残額
50,000,000円	平成31年4月1日	25,397,000円

1.2 法人による利用者負担額減免の状況

事業の区分	対象者数 (人)	減免額 (円)
介護老人福祉施設	0	0
短期入所生活介護	0	0
通所介護	0	0
訪問介護	0	0
合計	0	0

1.3 寄附金の状況

会計区分	件数	金額 (円)	備考
長寿会 (本部)	7	660,000 円	理事長 500,000 円 その他 160,000 円

1.4 苦情対応の状況

事業の種類	件数		事業所内 解決件数	備考
	5年度	4年度		
介護老人福祉施設	4	2	4	<ul style="list-style-type: none"> 健康管理、リハビリ、食事制限についての不満。→施設でできること、できないことを理解されたいと説明。了解された。 差し入れた缶詰を食べさせずに返された。→小缶を持参されたいとの説明不足。謝罪。 施設から依頼されて持って行った肌着がない。再購入した。→謝罪。持参品の写真を撮って控える。 退園手続きに来た家族へ連絡せず、身元引受人の娘に届けた。→謝罪。家族関係考慮。確認し対応する。
短期入所生活介護	0	2	0	
通所介護	3	1	3	<ul style="list-style-type: none"> デイの追加利用により、ヘルパーがキャンセルになる。→デイ行事時に追加利用される。行事予定をケアマネに早めに知らせる。 デイ帰宅後、手の甲に内出血があった。→利用時には気づかなかった。

				今後気を付けて観察する。 ・入浴時に嫌な思いをしたのでデイに行きたくないと本人が言っている。 →本人の言うことすべてが事実でないことを説明した。利用者への対応時の声かけや説明に気をつける。
支援センター／居宅介護	0	0	0	
合 計	7	5	7	

1 5 事故の状況

事業の種類	5年度		4年度 件数	備 考
	件数	保険適用		
介護老人福祉施設	3	0	12	骨折3 (入院1・通院2) (介助時1 滑り落ち1 不明1)
短期入所生活介護	2	0	1	転倒1 外傷1
通所介護	1	0	0	転倒1
支援センター／居宅介護	0	0	0	
合 計	6	0	13	

※医療機関に受診又は入院した件数

1 6 虐待防止・身体拘束廃止の取り組み

虐待防止委員会の開催	4月 7月 11月 2月	虐待・身体拘束案件の検討 不適切ケアの検討対策 職場の意識啓発、言葉遣いの注意喚起 研修計画 指針の確認
虐待の芽自己チェック	4月 7月 11月 2月	各自の振り返りを目的
第三者委員の巡回	実施なし	コロナ感染予防のため
施設内研修	施設 8月 11月 1月	ストレスマネジメント・身体拘束/虐待防止法・認知症
	デイ 9月 2月 3月	認知症・身体拘束排除・虐待防止

17 人材確保・人材育成

○職員の変動の状況

令和6年3月31日

	職種	採用	退職	異動	産休・育休		採用紹介元
					入り	復職	
4月	施設介護職員	1					紹介業者
6月	施設臨時介護職員 デイ看護職員	1 1					ハローワーク ハローワーク
7月	施設臨時介護職員 施設看護職員	1	1				
8月	施設機能訓練指導員		1				
9月	施設機能訓練指導員	1					紹介業者
10月	施設看護職員 施設介護職員 施設パート介護職員	1	1 1				
11月	施設臨時介護職員		1				
12月	施設パート介護職員 施設介護職員	1	1				
3月	施設介護職員 施設介護職員 施設パート介護職員 在宅支援センター職員 デイ介護職員	1	1 1	1 在宅支援センターへ		1	ハローワーク
計		8	8	1		1	

資産（土地・建物）の状況

令和 6 年 3 月 3 1 日

基本財産	所在地（地番、家屋番号）	地目、用途及び構造	面積（㎡）	担保提供の有無	備考
土地	山陽小野田市大字小野田字西ヶ迫 11324 番 10	宅地 長寿園敷地	6,497.95	無	平成 23 年 6 月中川氏から購入。登記済
	山陽小野田市大字小野田字西ヶ迫 11324 番 16	〃	490.95	〃	〃
	山陽小野田市大字小野田字三希溜井 6111 番 34	宅地 明寿香園敷地	1,193.56	〃	平成 29 年 2 月山陽小野田市から購入。登記済
	山陽小野田市大字小野田字西ヶ迫 11337 番 3	山林 長寿園敷地	5.71	〃	〃
	4 筆		8,188.17		
建物	山陽小野田市大字小野田字西ヶ迫 11324 番 10 (長寿園)	鉄筋コンクリート造陸屋根平屋建 鉄骨造鋼板葺平屋建	1,701.41	無	昭和 53 年 3 月 17 日新築 平成 30 年 8 月 15 日増築 (ホール 170.61㎡)
	山陽小野田市大字小野田字西ヶ迫 11324 番 10 (長寿園)	鉄筋コンクリート造陸屋根平屋建 鉄骨造鋼板葺平屋建	1,029.20	無	昭和 57 年 3 月 5 日新築 平成 4 年 12 月 21 日増築 (ショールステイ棟 178.15㎡) 平成 30 年 8 月 30 日増築 (個室特浴等 236.21㎡)
	山陽小野田市大字小野田字三希溜井 6111 番 34 (明寿香園)	鉄筋コンクリート・鉄骨ルーフィング葺平屋建	508.20	無	昭和 59 年 11 月 7 日新築 明寿香園 411.80㎡ 平成 2 年 12 月 3 日増築支援センター 96.4㎡ (平成 31 年 4 月 1 日改修工事完了に伴い、明寿香園訓練室、更衣室、相談室に使用目的変更)
			3,238.81	長寿園 2,730.61㎡ 在宅計 508.2㎡	

借地

令和6年3月31日現在

所在地	地目及び用途	面積 (㎡)	土地借用に係る契約・利用権の状況			
			契約年月日	相手先	利用権 登記	借地料 年額 (円)
山陽小野田市大字小野田字西ヶ迫 1321 番 10	宅地 職員駐車場	525.00	H28.11.20	山陽小野田市	無	256,431
		525.00				256,431

令和5年度 特別養護老人ホーム長寿園事業報告書

令和5年度 特別養護老人ホーム長寿園事業報告

令和5年度は、コロナウイルスが5類感染症に移行したが、感染状況に応じた注意喚起、ワクチン接種の励行、基本的予防対策の徹底を継続して行った。ワクチン接種は、ほぼ全員が実施し、職員は週2回コロナ抗原検査を行って感染予防に努めた。利用者、職員ともに、コロナウイルス、インフルエンザの罹患者があったが、感染拡大防止対策を速やかに行い、前年度に比べて、対策期間を短縮することができ、重症者はなかった。

重点目標の「施設実績目標1日平均75人、入所率91.5%達成」については、1日平均67.5人、入所率82.3%と、昨年度（1日平均67.5人 入所率82.3%）と変わらず、目標値に達しなかった。新入園者は41人で、前年度（39人）より増えたが、退園者数も同数の41人あり、入退園対応と入院者も多かった。

「ショート月平均5人」は、感染症対策による受け入れ中止時期もあったが、できるだけ柔軟に、積極的に受け入れ、1日平均4.4（4年度3.9）人、利用率は55.1（4年度48.8）%となり、前年度に比べ、目標に近づけることができた。

「職員の資質とチーム力向上」のための「ICT機器の導入スケジュールの具体化」については、業者からの説明やデモ機（介護記録、移乗機器）を实际使用したが、導入に至っていない。介護記録ソフトについては、年度末に、コンサルタントの契約を行い、令和6年度中に導入定着を目指すこととした。「業務の可視化」により、効率化のための業務の見直しを試みたが、分析に至っていない。各部署協力については、介護職と看護職の連携協議を定期的実施し、相互理解を図っている。

「利用者への権利擁護意識と接遇向上」については、虐待防止・身体拘束廃止委員会での協議内容を周知し、研修実施、チェックリストによる振り返りを継続している。

1 施設の概要

名称	特別養護老人ホーム 長寿園
住所	山陽小野田市大字小野田11324番地10
事業開始	昭和53年4月1日
サービス種類	特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設Ⅱ多床室）74人 （介護老人福祉施設従来型個室）8人 夜間職員配置 あり サービス提供体制強化 あり 個別機能訓練 あり 看護体制 I・II あり

	配置医師緊急時対応 あり 口腔機能維持管理体制 あり 若年性認知症入所者受入 あり 身体拘束廃止取組 あり 看取り介護体制 あり 介護職員処遇改善・特定処遇改善 あり 科学的介護推進体制 (R4.1～) あり ショートステイ 8人 (併設型短期入所生活介護Ⅱ多床室) (併設型介護予防短期入所生活介護Ⅱ多床室) 夜間職員配置 あり 機能訓練指導体制 あり 送迎体制 対応可 サービス提供体制強化 あり 介護職員処遇改善・特定処遇改善 あり
委託事業	施設入浴サービス (山陽小野田市) 緊急時短期入所サービス (山陽小野田市)
建物	鉄筋コンクリート平屋建 2, 730. 61㎡ 居室 4人部屋: 19室 2人部屋: 3室 1人部屋: 8室 食堂4 訓練室 浴室 (特浴 リフト付き個浴4) デイルーム ホール

2 サービス提供体制 (職員配置)

新規採用は、7人 (介護5人 看護1人 PT1人)、退職は7人 (介護5人 看護1人 PT1人) であった。

退職者は昨年 (16人) より少なかったが、年度中に採用した介護職員が年度内に退職し、退職者7人の内4人が、勤務年数が3年未満であった。職員の定着が依然課題である。

令和5年度末職員人数 (人)

園長1 事務長1 事務主任1 事務員2 主任相談員1 (介護支援専門員兼務) 生活相談員1 機能訓練指導員1 医師1 (非常勤1) 介護主任1 ユニットリーダー2 ユニットサブリーダー2 介護職員26 (パート5) 看護職員4 栄養士 (給食主任) 1 清掃員1 (パート1) 洗濯員2 夜間警備員2 (非常勤2) 計50人 (パート・非常勤9) () 内書は再掲

看護・介護職員と利用者の割合（令和5年度年間集計）

	常勤 人	延在籍	非常勤 人	常勤換算	計 人	看護介護 職員合計	看護介護職員 利用者の割合
		常勤換算		常勤換算			
介護職員	30	27.0	6	2.3	29.3	33.1 (前年度 32.9)	2.2 : 1
看護職員	5	3.8	0	0	3.8		
年度 利用実績	施設	24,720 人		$\frac{26,335 \text{ 人}}{365 \text{ 日}}$	= 71.95 人		
	短期	1,615 人					

3 サービスの実施状況

(1) 利用実績

①施設入所

延利用者数は24,720（4年度24,639）人、入所率82.3%（4年度82.3%）であった。新入所者41人（4年度39人）のうち、在宅からの入所は7人、うち当園のショートステイを利用したことのある利用者は4人だった。特例入所者や、医療機関の退院勧告者、他市・他県からの入所も、状況を見て、柔軟に受け入れた。

退所者は41人（4年度35人）で、死亡退園者は30人、入院先で死亡退園者4人、病院入院・加療継続6人で、入院（死亡含む）による退所が多かった。

入院は実人数25人（4年度19人）で、延べ1,456日（4年度805日）。摂食不良や熱発、嘔吐などの急変が多く、業務時間外の対応件数も多かった。入院期間が長くなったため、空床日数が多くなった。

入所者の平均介護度は、3.67（4年度3.56）で前年度とほぼ変わりなかった。

- 別表1 施設利用状況
- 別表2 入退園者の状況
- 別表3 受診・入院の状況

② 短期入所（ショートステイ）

延べ利用者数は1,615人（4年度1,427人）、1日平均4.4人。利用率は、55.1%（4年度48.8%）。前年度より少し増加した。新規利用者を積極的に受け入れ、利用頻度や利用日数が多く、感染症による受け入れ制限が、9月に2週間のみの実施だったこと

も一因と思われる。平均介護度は2.43(4年度2.25)であった。

別表4 ショートステイ利用状況

③ 入浴サービス（山陽小野田市委託事業）

利用者は0人。新たな問合せ、年度中の希望者もなかった。

(2) サービス内容

【介護】

(重点) ケアの質の向上に努める。

各部署と連携の強化に努め、ケアの質を高めた。

食事摂取量等の減少がみられる利用者のケアについては、給食・看護部門と連携し、経口摂取の継続ができるようにした。

利用者の離床機会の確保が依然として課題である為、業者より移動・移乗機器のデモ機をレンタルし機能訓練指導員と試行し福祉用具導入の検討を行った。

(1) 業務手順・マニュアルの見直しを行い、周知徹底を行う。

感染対策も視野に入れ、夜間帯各ユニット単体での対応が行えるように夜勤業務の見直しを行った。それに伴い夜間帯各ユニットでの利用者対応もしやすくなった。

マニュアルの見直しについては、各委員会のマニュアルの見直しを促した。

業務の明確化と役割分担については、ティータイム準備・備品類の運搬、利用者の衣類・棚の整理・清掃業務等をパート職員・介護助手職員に業務を担ってもらった。ユニット職員が、利用者の直接ケア業務に専念できるように努めた。

(2) 記録様式の変更と情報共有方法の改善を行う。

必要に応じて各ユニットで、食事摂取量チェック表、服薬確認票等の記録様式の適宜改善を行った。また介護・看護連携会議にて意見交換をし、排泄表の変更を行った。排泄状況を確認しやすい様式にした。

情報共有については、日誌・連絡帳等で伝達事項の確認を行う方法をとっているが、確認不足や記載漏れ等により、周知徹底できていないことがある為、今後も職員間の伝達方法も含め修正を行っていく。

(3) 業務の見える化、ケアと作業の振分を行い、効率化に努める。

介護リーダー会を中心に業務の見える化を行ったが、業務の振分及び、効率化を図るまでには至っていない。

(4) 新人職員教育・OJTの充実を図り、人材の定着に努める。

新規採用職員に対しては、入社時オリエンテーションにて新人研修を行い、その後は新人職員日誌の記入を行い、新人職員へのフォローを行った。入社後当面の間は、指導担当職員と共に業務を行いOJTの充実を図った。

【給食】

(重点) 利用者の健康状態に合わせた栄養ケアと給食提供を行う。

令和5年3月より(株)ナリコマへ調理業務の全面委託にしたが、その後は連携を取り、利用者には問題なく食事提供を行うことができています。

(1) 栄養管理

年間栄養摂取状況(別紙)は、目標達成できた。低体重者や摂取量の少ない方に対しては、個々に合わせた食事・栄養補助食品を付加して提供(令和6年3月31日現在 利用者の内39.2%)するなど、利用者の状態に合わせた食事の提供を行った。

(2) 調理

衛生面では、大量調理施設衛生管理を徹底し、食材、器具の清潔な取り扱いと、作業手順に気を付けて作業することができた。

(3) 災害時対策

食事提供に関する非常災害時対応マニュアルの内容にそって、非常時に適切に対応できるようにした。

別表5 年間給食実施状況

【看護】

(重点) 介護・看護の業務連携を強化する。

毎月協議の場を持ち、課題の共有と解決の話し合いを行った。相互理解と共通認識をもってケアに当たるよう、連携協議を継続していく。

(1) 健康管理・看取り

定期健康診断を在園者60人に対して行い、新規入園者41人へは入園時に実施した。健康診断の結果は、文書にて家族へ送付した。

新規入園者は、殆どが病院からの入園で、体調が不安定な人も多い。入園時の面談に医師が必ず出席し、病歴や治療を確認し、健康管理に対する家族の意向を聞きとるようにした。

他医療機関への通院は52人が延べ134回、入院は25人(救急搬送3人)あり、家族への病状説明、医療機関への情報提供、受診付き添い、入院対応に多くの時間を要した。

施設での死亡は30人のうち、看取りケアを行ったのは23人であった。最期の予測はつきにくく、家族に看取りケアの説明ができないケースもあった。近年は在

園期間が短い。入所時から、施設での看取りを意識してケアを提供するよう必要がある。

(2) 感染対策

利用者の予防接種は、コロナウイルスワクチンを、6月と10月に実施。インフルエンザワクチンを11月に実施した。施設内では、標準予防対策を行うとともに感染源を施設に持ち込まないよう、職員の健康管理、面会制限を行ったが、コロナウイルス感染が8/31発症し、9/20まで隔離等の蔓延予防策を行った。その間、利用者13人、職員9人の罹患者があった。また、インフルエンザ感染が、11/28発症、12/7対策終了まで、利用者10人、職員8人が罹患した。この間、利用者1人にコロナウイルス感染が確認されたが、他への感染は防がれた。感染による重傷者はなかった。ノロウイルス感染者はなかった。

(3) 褥瘡対策

重介護、高齢により、褥瘡発症のリスクが高い利用者が増加している。年間の褥瘡発症件数は6件あった。介護と看護の早期発見、早期対応により、悪化することなく短期間ですべて治癒した。

体圧分散マットレスの使用、適切なポジショニング、身体の清潔等のケアを行い、褥瘡予防対策を徹底していく。

(4) 医療的ケア

胃瘻造設者は1人で、昨年と同じ利用者で、看護師が対応している。

喀痰吸引の対象者は今年度もなかった。

(5) 多職種連携協働

介護職との情報共有に努め、皮膚のケアや排便管理など、利用者ケアが適切に行えるよう努めた。服薬の指示や体調の留意点など、介護職へ伝達し、状態把握に努めた。また医師に適時報告し、利用者の健康管理を行った。

別表3 受診・入院の状況

【機能訓練指導員】

(重点) 利用者の安楽な姿勢保持を徹底する

(1) 個別機能訓練プランの作成

心身機能の維持回復を目指した計画を作成し、モニタリングを行った。

(2) 心身機能維持回復に関わる指導・ケア

利用者の安楽な姿勢保持のため、臥床時のポジショニングや離床介助、介護職員への指導などを行った。離床後の余暇活動の充実に向け、塗り絵や脳トレなどのプリントを作成、活用した。集団体操は数回行ったが、定期的には行えなかった。

年度末に移乗リフトのデモ機を試用した。

【介護支援専門員】

(重点) 利用者の状態変化に伴う速やかなプランの立案、徹底を行う。

要介護認定時期に合わせて、6ヶ月ごとに定期的に行った。ターミナル(看取り)プランについては、家族面会時に説明、同意を得るようにした。新規入所者に対しては、「当面のケアプラン」を作成し、入所時に、家族にケア方針を示した。

【相談員】

(重点) ショートステイ利用者に楽しみを提供する。

新入園者や入退院者の情報収集(面会)、日程調整に追われ、楽しみの提供について、検討、実施することができなかった。

(1) 入退園対応・代行手続き

計画通りに実施できるよう努めたが、目標の稼働率には届かなかった。

入所中の利用者のADLが改善し、特例入所対象になったケースが2件あり、市への申請代行を行い、利用者家族が困らないように対応した。

(2) 相談援助・諸手続き代行

入所相談や関係機関からの問合せについて、適切な対応に努めた。

(3) 家族との関係

問合せや利用者の個別の状態について質問があった時には、速やかに現場職員に確認し、返答するように努めた。

9月に家族を交えた敬老会を予定していたが、コロナ感染と重なり、10月21日に延期した。23家族の来園があり、お祝いの記念写真撮影、面会を楽しまれた。

面会禁止期間が9月に短期間あったが、1,792人と前年度より500人ほど増えた。(4年度1,322人)。

家族談話会を12月の土曜日に実施し、13家族23人の参加があった(4年度23家族53人)。内容を『看取りとどう向き合うか』にし、来園家族の看取りに関する意識付けにつながった。

毎月定期的に、事務文書や連絡文書、本人宛の文書等を送付した。

外出は、受診や葬儀などを除き、全て禁止とした。外泊も同様に禁止とした。夫の一周忌法要の為外出が1件あり、自宅まで送迎をした。

(4) ショートステイ

感染症対策の為、受け入れを中止せざるを得ない時期もあったが、できるだけ柔軟に受け入れるようにした。荷物の管理や薬の確認等に、時間を要した。

5類に移行したが、入所前の抗原検査は継続して行った。抗原検査への抵抗が強い利用者1名が、利用を見合わせている。

(5) ボランティア受け入れ

洗濯物たたみのボランティアは、高齢により中止するグループがあるが、個人ボランティアの申し出があった。人数により、洗濯物の量を調整するなど、負担にならないように調整した。ガラスふき、清掃等は、施設建物外の活動をしてもらった。

(6) 交流行事

園全体で9月に敬老会を実施した。誕生会を毎月実施し、ユニットを越えた交流となった。参加者や内容について検討していく。

別表 6 面会状況

別表 7 ボランティアの来園状況

【事務】

(重点) 経費の節減を行う。

消耗品については、広く情報収集をして見積もりを取り、経費の節減に努めた。

整理整頓については、不要な書類の整理、処分をして、仕事がしやすい環境を作った。

窓口対応および電話対応については、待たせることのないよう、親切・丁寧・迅速な接客と対応に努めた。

【主任者会】

(重点) 次年度に向けて介護記録システムソフトを選定、決定する。

業者選定をして、説明会を実施したが、課題整理まで及ばず、コンサルタントを依頼し、次年度に実現することとした。

(1) 主任者会

月1回開催し、園全体の状況把握と共通認識、協議検討を行った。

(2) 職員の研修計画

①施設外研修

感染症対策により、WEBでの研修を積極的に受講するようにしたが、現場職員の受講が難しかった。

②施設内研修

年間計画に沿って、必要な内容を検討し、計画・実施した。昨年同様、WEB研修を活用した。

今年度は外部講師による研修を増やし、最新の情報を得ることができた。(ポジショニング、感染症、口腔ケア)

感染症発症時の訓練(実技)について、来年度の課題となった。

③新任研修

入職時の机上研修と現場 OJT を行った。講師（職員）の都合上、すぐに実施できない講義もあったが、できるだけ早く受講できるようにスケジュールを調整した。

(3) 実習・施設見学受け入れ

今年度は、介護、相談の実習を受け入れた。施設見学の依頼はなかった。

別表 8 施設外研修の参加状況

別表 9 実習・施設見学の受け入れ状況

別表 10 施設内研修（現任）の実施状況

別表 11 新人職員研修の実施状況

【委員会活動】

委員会の種類、活動内容の検討予定であったが、実施できなかった。

○看取りケア委員会・認知症ケア委員会

介護リーダー会で、毎月利用者の状況を把握し、職員へ伝達・意識付けを図った。

○事故防止委員会・感染症委員会

定期的に会議を持ち、園内研修や職員への注意喚起を行った。

○褥瘡委員会

毎月の褥瘡発生状況を確認し、リース物品の管理、自主研修などを行った。

○排泄委員会・ショート委員

日勤職員が担当し、物品の準備、管理を行った。

別表 12 職員会議の実施状況

別表 13 委員会の活動状況

4 安全・防災対策・環境衛生の状況

(1) 清潔

日常業務の中で、手洗い、清掃、器具の衛生的な取り扱いをするようにしたが、車いすやベッド、棚などの清掃が昨年度同様十分できなかった。業務内の実施が難しく、通年の課題であったが、改善することができなかった。

換気は一年を通して園内放送で呼びかけを行い、日に2回実施した。寝具の日光消毒は定期的に行った。

(2) 安全対策

防災訓練及び業者委託の点検・消毒は、下記のとおり実施した。

防災 訓練	日中想定消防訓練	2/1	1回
	夜間想定消防訓練	4/24 8/9 11/4 2/1	4回
	地震想定防災訓練	コロナ対策中の為実施せず	0回
	消防設備の説明(消火器・消火栓の取扱)	9/29 3/18	2回
新任職員対象 消火設備の取り扱い等の研修		新人研修の際ごと	

設備 点検	消防設備の点検	2回	藤中ポンプ店
	電気設備の点検	6回	中国電気保安協会

害虫駆除	調理室ゴキブリ駆除	12回	山口県業
	園内ゴキブリ駆除	0回	
	建物周囲害虫駆除	1回	山口県業 5月
	園内床磨き	2日	白清社 8月
大掃除	ダニ駆除	4日	6月末

(3) 快適な環境づくり

省エネに留意しながら、利用者が快適に過ごせる室温設定に努めた。扉や水道の不具合は速やかに修理した。大きな修繕はなかった。

5 入所申込者の状況

入所検討委員会は8月と1月に開催し、検討結果を速やかに申込者に通知した。営業会議を隔週1回実施し、入園者の速やかな受け入れを協議した。

年度途中から、申込時の施設見学を、居室棟内まで受け入れた。より理解が深まり、安心して申し込みをされている。

退院勧告や退院期限間近な申込者の場合は、優先的に入所につなげた。

特例入所は1件あった。

委員会開催日	既申込者	新申込者	検討者 (入所待機)	備考
令和5年8月3日	19人	31人	15人	
令和6年1月25日	18人	27人	8人	

6 利用者の状況 令和6年3月31日現在 73人 (R5年3/31: 73人)

別表14 年齢別状況

別表15 在園期間の状況

別表1

施設利用状況

令和5年度

	令和5年度												構成比		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		合計	
定員	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82	構成比
日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366	30,012	
介護1	30	54	60	62	62	60	62	60	62	62	58	93	725	2.9%	
介護2	30	62	60	62	62	60	62	60	62	62	58	62	702	2.8%	
介護3	703	722	719	746	820	812	755	731	725	700	657	686	8,776	35.5%	
介護4	976	1,020	955	941	895	848	904	838	850	802	789	866	10,684	43.2%	
介護5	353	347	268	320	323	300	262	287	310	309	359	395	3,833	15.5%	
延人数合計	2,092	2,205	2,062	2,131	2,162	2,080	2,045	1,976	2,009	1,935	1,921	2,102	24,720	100%	
1日平均人数	69.7	71.1	68.7	68.7	69.7	69.3	65.9	65.8	64.8	62.4	66.2	67.8	67.5		
入所率(%)	85.0	86.7	83.8	83.8	85.0	84.5	80.4	80.3	79.0	76.1	80.7	82.6	82.3		
入院人数	7	5	7	8	4	4	5	6	7	8	7	7	75		
日数	131	107	123	131	70	88	93	127	145	177	123	141	1,456		
内加算対象日数	19	12	13	24	0	7	7	13	10	24	15	18	162		
内加算無日数	112	95	110	107	70	81	86	114	135	153	108	123	1,294		
外泊人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
入所人数	4	3	3	2	5	3	5	3	2	4	4	3	41		
初期加算日数	136	154	78	120	96	96	59	91	109	68	111	118	1,236		
退所人数	2	4	4	4	2	7	5	9	5	2	1	2	41		
看取加算人数	1	3	1	1	2	4	3	1	5	0	1	1	23		
日数	6	11	45	23	8	58	11	45	48	0	14	1	270		
実人数	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	2.6%	
介護1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1.8%	
介護2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		
介護3	25	25	27	25	30	31	28	28	27	25	25	24	39	34.2%	
介護4	37	36	35	34	31	31	31	31	30	28	31	32	45	39.5%	
介護5	13	13	11	12	11	11	12	10	11	14	13	14	25	21.9%	
合計	77	78	77	75	76	77	75	73	72	71	73	75	114		
平均介護度	3.78	3.72	3.66	3.69	3.62	3.61	3.65	3.62	3.64	3.70	3.70	3.69	3.67		

利用状況集計

別表2

入退園者の状況

令和5年度

	男	女	計	前年	要支援	介護度					計		
						1	2	3	4	5			
入園	入園前の状況												
	在宅（ショート含む）	2	5	7	7	0	0	0	0	0	0	0	7
	うち当園ショート利用歴あり	1	4	5	4	0	0	0	0	0	0	0	5
	病院（精神科含む）	6	14	20	22	0	1	0	0	7	7	5	20
	老健	3	0	3	1	0	0	0	2	1	0	0	3
	養護老人ホーム	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護医療院	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	グループホーム	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	有料老人ホーム	1	6	7	2	0	0	0	1	3	3	0	7
	その他（ケアハウス、サ高住、障害施設等）	0	3	3	1	0	0	0	2	1	0	0	3
	特養	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1
	計	13	28	41	39	0	1	0	17	15	8	0	41
	退園	理由											
死亡		自施設	3	27	30	25	0	0	0	11	13	6	30
		施設外	1	3	4	-	0	0	0	1	1	2	4
入院		自宅（介護3→1）	4	2	6	10	0	0	0	2	2	2	6
		他施設	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	1
計		8	33	41	35	0	1	0	14	16	10	0	41

別表3

受診・入院の状況

令和5年度

	他科受診														入院			
	歯科	精神科	外科	内科	皮膚科	整形外科	泌尿器科	眼科	呼吸器内科	消化器内科	婦人科	循環器内科	脳神経外科	耳鼻科	リウマチ科	人	日	
4月	43	1	1	3	2	2	5	1	0	0	0	0	0	0	0	7	131	理由・症状 急変加療 尿閉 脱水
5月	45	0	3	1	7	4	5	0	0	0	0	1	0	0	0	5	107	大腿骨骨折
6月	41	0	0	1	4	1	5	0	0	0	0	2	0	0	1	7	123	発熱 嘔吐 急変加療
7月	44	0	0	0	6	0	3	1	0	0	0	1	0	1	0	8	131	急変加療 人工骨頭炎症 蜂窩織炎
8月	44	0	1	0	3	2	8	0	0	0	0	2	0	0	0	4	70	前月からの継続者
9月	29	0	1	1	0	2	3	2	0	0	0	1	0	0	1	4	88	コロナ 意識レベルの低下
10月	46	0	1	1	2	2	3	1	0	0	0	1	1	0	0	5	93	家族医療希望 意識レベルの低下
11月	44	0	0	0	1	1	2	1	0	1	0	2	1	0	0	6	127	頭部の創感染 肺炎 ペースメーカー交換
12月	34	0	0	1	3	1	4	1	0	0	0	0	1	0	0	7	145	インフルエンザ
1月	44	0	1	3	4	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0	8	177	骨折 発熱 食欲不振
2月	47	0	0	2	2	0	3	0	0	0	1	0	2	0	1	9	123	脱水 透析治療 血圧低下
3月	47	1	0	1	2	2	2	1	0	1	0	4	1	0	0	7	141	手術 状態急変
計	508	2	8	14	36	18	44	8	0	2	1	15	6	2	3		1,456	←入退院日を含まない
実人数	79	2	4	8	10	7	10	4	0	2	1	8	2	2	1	25		
R4実人数	76	3	20	21	13	4	5	3	1	3	2	3	2	2	1	19	805	R4年度入院日数:805

別表4

令和5年度

ショートステイ利用状況

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計		構成比	
	30日		31日		30日		31日		31日		30日		31日		30日		31日		31日		29日		31日		366日			
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数		
予 防 介 護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
	1	5	1	5	1	4	1	5	1	4	0	0	1	5	1	5	1	5	1	5	1	5	1	5	0	1	48	3.0%
介 護 1	5	32	3	7	3	11	6	15	3	12	1	4	5	35	5	18	3	14	4	42	4	12	3	8	10	210	13.0%	
	3	45	3	44	4	47	4	41	2	25	1	20	2	26	4	23	3	31	1	15	2	20	3	21	10	358	22.2%	
介 護 2	3	42	5	73	5	65	3	41	3	33	3	16	3	18	4	27	2	24	3	24	3	46	4	71	12	480	29.7%	
	1	2	1	2	1	2	3	13	4	54	4	67	3	43	3	42	3	44	4	52	4	49	2	32	6	402	24.9%	
介 護 3	1	3	1	3	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	16	1	19	1	19	2	24	1	16	2	103	6.4%	
	14	129	14	134	15	132	17	115	13	128	9	107	14	127	18	131	13	137	14	157	16	156	13	148	41	1,601		
小計(A)	15	130	16	136	16	133	18	116	14	129	10	108	15	128	18	131	14	138	15	158	18	158	15	150		1,615	100%	
30日超過(B)	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	1	1	1	2	2	2	2	5	14	0.9%	
合計(A)+(B)	16	131	18	138	17	134	19	117	15	130	11	109	16	129	18	131	15	139	16	159	20	160	17	152		1,629		
平均介護度	2.07		2.36		2.33		2.06		2.46		3.11		2.14		2.33		2.46		2.57		2.69		2.62		2.43		2.43	2.43
1日平均人数	4.3		4.3		4.4		3.7		4.1		3.6		4.1		4.3		4.4		5.0		5.4		4.8		4.4		定員8人	
利用率(%)	54.1		54.8		55.4		46.7		52.0		45.0		51.6		54.5		55.6		63.7		68.1		60.4		55.1			
送迎加算回数	24		27		22		38		35		7		35		39		34		29		34		30		354		29.5	

事務一般/介護保険実績集計/施設状況

合計実人数は期間中の人数

平均介護度は、実人数による

令和4年度年間実人数	41名
令和4年度平均介護度	2.25

別表5

年間給食実施状況表

令和5年度

栄養摂取状況(1人1日当り)													
	エネルギー kcal	たん白質g	脂肪g	カルシウムmg	鉄mg	V. B1 mg	V. B2 mg	V. C mg	食塩相当量g	穀類エネルギー 総エネルギー ×100(%)	動物たん白質 総たん白質 ×100(%)		
4月	1,533	61.3	44.7	687	7.6	1.46	1.23	116	6.72	57.8	51.9		
5月	1,521	61.0	43.5	672	7.0	1.47	1.13	127	6.82	58.2	50.7		
6月	1,528	61.0	44.7	687	7.4	1.15	1.08	119	6.83	57.7	49.5		
7月	1,528	61.7	43.6	712	7.5	1.19	1.20	114	6.88	58.2	50.8		
8月	1,595	65.6	49.3	737	8.0	1.49	1.24	118	6.94	55.7	54.8		
9月	1,590	64.8	48.0	721	7.5	1.35	1.32	116	7.13	56.5	51.7		
10月	1,587	64.0	47.2	716	8.1	1.37	1.14	118	7.10	57.1	52.5		
11月	1,579	64.5	46.2	724	7.4	1.41	1.19	116	7.19	57.3	52.2		
12月	1,602	66.3	47.8	684	8.0	1.38	1.14	110	7.18	56.6	53.9		
1月	1,589	65.9	47.2	714	8.1	1.51	1.13	123	7.23	56.7	52.3		
2月	1,598	66.1	47.6	705	7.7	1.36	1.17	115	7.12	56.7	52.6		
3月	1,599	65.3	48.7	750	7.9	1.20	1.16	118	7.24	56.3	52.8		
合計	18,849	767.5	558.5	8,509	92.2	16.34	14.13	1410	84.38	684.8	625.7		
平均	1,571	64.0	46.5	709	7.7	1.36	1.18	118	7.03	57.1	52.1		
目標値	1,450	60.0	30.0	600	7.5	0.70	0.90	100	7.20	48.0	50.0		
目標値に対する比較%	108.3	106.6	155.1	118.2	102.4	194.5	130.8	117.5	97.7	118.9	104.3		

面会状況

令和5年度

	延べ人数(人)	前年度
4月	183	135
5月	170	126
6月	155	165
7月	174	111
8月	210	46
9月	96	9
10月	157	121
11月	142	133
12月	89	139
1月	133	7
2月	131	113
3月	152	217
計	1,792	1,322

別表7

ボランティアの来園状況

令和5年度

ボランティア名		来園回数	延人数
団 体	SDG	17	43
	寿美令会	24	85
	ひまわり会	9	41
	若山会	4	8
	田平さん・天野さん	3	6
	柴田さん	18	18
	岩本さん	38	38
	竹中さん	29	29
	中電工(清掃)	1	6
	民生委員(ガラス拭き)	8	47
	地区労働福祉協議会	1	34
	合 計	152	355
令和4年度	146	511	

別表8

施設外研修の参加状況

令和5年度

研修名	日程	期間 (日間)	場所	園長	事務長	相談員	事務員	介護職	看護職	栄養士	調理員	
令和5年度 山口県老人福祉施設総会(第1回) 運営研修会	7/4	1	湯田	1								
山口県労働セミナー(第1回)賃金制度	7/21	1	宇部		1							
令和5年度 認知症介護基礎研修	eラーニング	—	WEB					1				
令和5年度 介護技術研修会	6/17~9/16	4	山口					1				
能力開発研修会 (第1回)新人研修	6/28	1	山口					1				
令和5年度 第1回 総会・社会福祉法人経営力向上セミナー	7/13	1	湯田	1								
第1回雇用管理セミナー 介護施設におけるICT活用	8/24~8/29	1	WEB	1								
山口県労働セミナー(第2回)労働法関係の改正	8/25	1	宇部		1							
第54回中国地区老人福祉施設研修大会	8/29~30	2	WEB			1		1				
介護報酬改定対応研修~介護施設・事業所における虐待防止及び身体拘束等の適正化について~	7/12~11/24	—	WEB	1		1						
令和5年度 山口県経営協セミナー(前期)	8/10	1	WEB		1							
山口県労働セミナー(第3回)ハラスメント・メンタルヘルス	9/8	1	山口		1							
同一労働同一賃金、改正育児・介護休業法等オンラインセミナー	9/13	1	WEB		1							
山口県労働セミナー(第4回)就業規則	10/25	1	山口		1							
社会福祉法人における職場環境見直し研修会【県経営協】	12/12	1	湯田		1							
令和5年度 認知症介護基礎研修	eラーニング	—	WEB					1				
令和6年度介護報酬改定について	2/25	1	WEB	1								
令和5年度 第2回総会及び社会福祉法人経営力向上セミナー	3/12	1	湯田	1								
令和5年度 在宅感染管理研修	3/2	1	下関						2			
令和5年度 総会(第2回)・施設長研修会	3/14	1	湯田	1								
* 令和5年度 実人数……10人			延人数	23	7	7	2	0	5	2	0	0

別表9

実習・施設見学の受け入れ状況

令和5年度

《実習》

学校・施設名	期間	日数(日)	人数(人)
下関福祉専門学校 介護実習(2段階)	6月12日~7月5日	18	2
下関福祉専門学校 介護実習(3段階)	9月13日~10月19日	27	2
山口県立大学 ソーシャルワーク実習 I	2月13日~2月22日	8	1
山口県立大学 ソーシャルワーク実習 I	2月26日~3月6日	8	1
5 回		61	6
令和4年度 5 回		68	7

《見学》

0 回 (申し込みによる見学を除く)		0	0
令和4年度 0 回		0	0

施設内研修(現任)の実施状況

令和5年度

実施日	テーマ	講師	参加職種					参加人数
			介護	看護	相談	給食	事務	
4月	全体会議(今年度の事業計画、心得等)	園長 主任者会	●	●	●	●	●	33
5月	食中毒	感染症対策 委員会	●	●	●	●	●	WEB
6月	事故防止(過去の事故から学ぶ、 KYK)	事故防止委 員会	●	●	●	●	●	WEB
7月	褥瘡(ポジショニングの意義 ポイント)	外部講師 福田圭祐さん	●	●				23
8月	ストレスマネジメント	外部講師 広瀬春美さん	●					22
9月	倫理綱領(他職種の倫理綱領にも触 れてみよう)	主任者会	●	●	●	●	●	WEB
	ノロインフルエンザ(予防と対策)	外部講師 感染管理認 定看護師 梅野伊都美	●	●	●	●	●	29
10月	誤嚥や窒息、誤嚥性肺炎予防等、安 全な食事介助の方法について	外部講師 摂食嚥下認 定看護師 柴田嘉代子	●	●	PT	●		20
11月	身体拘束廃止と高齢者虐待防止につ いて	虐待防止委 員会	●	●	●	●	●	WEB
12月	医療的ケア(心肺蘇生とAED) 看取りケア	看護師	●	●				書類 閲覧
1月	認知症ケアに関する研修	介護リーダ ー会	●	●				書類 閲覧
2月	事故に関する記事から、事故防止の 気づきを得る～転落防止・皮下出血予 防～	事故防止委 員会	●	●	●	●	●	書類 閲覧
3月	緊急時対応	介護リーダ ー会	●					WEB

別表11

新入職員研修の実施状況

令和5年度

内容	職種	時期	回数	担当
職務心得・虐待他	全職種	採用直後	7	園長
採用に関わる書類等	全職種	採用直後	7	事務長
接遇・利用者理解	全職種	採用直後	7	相談主任
感染症予防対策	全職種	採用直後	7	介護主任(感染症委員会リーダー)
事故防止対策	全職種	採用直後	7	介護主任(事故防止委員会リーダー)
介護業務	全職種	採用直後	5	介護主任
褥瘡について	全職種	採用直後	7	介護主任(褥瘡委員会リーダー)
ケアプラン	介護・看護	夜勤業務が1人のできるようになった後	1	介護支援専門員(対象者1名のみ)
介護業務(移動)	介護	OJTにて、実施		
介護業務(食事)	介護			
介護業務(入浴・整容)	介護			
介護業務(排泄)	介護			
介護業務(記録)	介護			
看護業務・死生観	全職種	採用直後	7	看護師
給食業務 (給食:食種やトロミ剤、自励具について)	全職種	採用直後	7	給食主任

* 令和5年度中の新規採用実人数:7人(介護:5 看護:1 機能訓練:1)

職員会議の実施状況

令和5年度

会議の名称	回数	参加者	協議内容
主任者会	12	介護主任、看護主任、給食主任、主任生活相談員、事務主任	事業内容の進捗状況確認 業務内容の確認(各部署からの報告) 園内研修計画及び、進捗状況について 園の運営について 行事、苦情等について
介護リーダー会	10	介護職主任、ユニットリーダー	園内研修について 業務内容、時間の見直し 利用者個別ケアについて
さくら ユニット会議	2	ユニット介護職 総リーダー	ユニットケア全般業務連絡、業務見直し、 意見交換、
看護職会議	2	看護師	入所者の体調について 服薬管理について 往診対応について
相談員会議	1	相談員	事業内容の進捗状況確認 ショート利用者の余暇時間の過ごし方について
看護介護連携 協議会	10	介護主任、総リーダー、ユニットリーダー、サブリーダー、看護師	利用者の体調確認 連携について 業務の見直しについて
ケアカンファレンス	22	ユニットリーダー、栄養士、生活相談員、機能訓練指導員、介護支援専門員	ケアプランの策定、見直し のべ144人検討
計	59		

委員会の活動状況

令和5年度

委員会の名称	会議回数 (回)	活動内容
認知症ケア委員会	一	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症ケアについての研修企画・実施 ・アンケートの集計、検討 ※介護リーダー会にて、上記について話し合う。
看取り委員会	一	<ul style="list-style-type: none"> * 介護リーダー会メンバーで、ユニット利用者の状況確認 ・看取りケアを行った利用者についての振り返り
事故防止委員会	5	<ul style="list-style-type: none"> ・離床コール、センサーベッドなどの管理(使用者、作動確認など) ・職員の事故防止に対する意識啓発、園内研修、記録紙の見直し ・園内研修の準備 ・マニュアルの見直し、修正 * 事故、ヒヤリハットの集計……毎月集計。結果を委員で回覧
褥瘡対策 防止委員会	7	<ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡予防及び、発生時に向けた対策の検討 ・園内研修の準備 ・褥瘡予防のための、体位変更の確認、栄養状態の確認 ・褥瘡予防物品の整理整頓、管理(使用状況の把握など) ・褥瘡発症者、要注意者の状態把握、評価、予防に向けての取り組み
感染症委員会	5	<ul style="list-style-type: none"> ・平常時の感染予防、感染予防基本動作の徹底、行動マニュアルのデモ ・マニュアルの見直し、修正 ・感染症流行期間の内外に対する注意喚起(張り紙、園内放送) ・園内研修の準備 ・ノロウイルス初期対応マニュアルの見直し、検討

年齢別状況

別表14

令和5年度

(歳)	男		女		計	
	R4年度末	R5年度末	R4年度末	R5年度末	R4年度末	R5年度末
～64	1	1	0	0	1	1
65 ～ 69	2	1	1	0	3	1
70 ～ 74	1	3	1	1	2	4
75 ～ 79	0	2	5	7	5	9
80 ～ 84	5	4	14	15	19	19
85 ～ 89	3	4	13	14	16	18
90 ～ 94	0	3	18	14	18	17
95 ～	1	1	8	7	9	8
計	13	19	60	58	73	77
最低年齢	49	50	69	70		
最高年齢	100	101	99	100		
平均年齢	78.8	81.1	87.2	87.4	85.7	85.8

別表15

在園期間の状況

令和5年度

*年度末の人数で計算

	男		女		計	
	R4年度	R5年度	R4年度	R5年度	R4年度	R5年度
1年未満	5 ^人	10 ^人	21 ^人	20 ^人	26 ^人	30 ^人
1年以上2年未満	2	3	16	12	18 ^人	15
2年以上3年未満	4	1	8	8	12 ^人	9
3年以上5年未満	1	3	9	11	10 ^人	14
5年以上10年未満	1	1	2	1	3 ^人	2
10年以上	0	1	4	6	4	7
計	13	19	60	58	73	77
平均在園期間	2年0か月	2年3か月	2年7か月	3年5か月	2年5か月	3年1か月

令和5年度 デイサービス施設明寿香園事業報告書

令和5年度 デイサービス施設明寿香園事業報告書

令和5年度は、認知症予防の取り組みを積極的に行い、脳トレや集団体操を実施した。アクティビティ活動や行事では、週に1回程度の趣味活動を行い、楽しみを持って利用してもらい、他者との交流が図れるよう配慮した。また、個々に応じた心身機能の維持向上訓練や、日常生活機能訓練に力を入れ、在宅生活が継続できるように支援した。

毎月、あすかだよりを発行し、利用者や居宅事業所等、関係機関への配布を行った。園での様子を知ってもらうツールとなった。

感染症の予防対策として、検温、手洗い、うがい、消毒、換気等を適宜行い、感染症予防に努めた。職員4名、利用者6名の感染症の発症もあったが、通常営業することができた。

重点目標の1点目「新規利用者の受け入れを積極的に行う」は、事前訪問を行い、体験利用をしてもらった。一日過ごしてもらい、「また来たい」と思ってもらえるように支援した。

2点目「アクティビティ活動の充実を図る」については、クロスワードや間違い探し、毎月のカレンダーの作成や塗り絵等、事前準備を行い、利用者各自が選択することで、楽しんでもらうことができた。また、趣味活動を実施することで、追加利用をされる方もあった。

3点目「人材の育成、職員の定着に努める」については、マニュアルに沿った指導を行い、定期的に声掛けや状況の把握に努めた。また、職員間で出勤の調整を行い、働きやすい環境を整えた。

1 施設の概要

<p>名 称</p>	<p>デイサービス施設 明寿香園 通所介護(通常規模型)・総合支援事業(予防給付型) 定員 30人 【通所介護】 入浴加算、個別機能訓練Ⅰ2加算、 個別機能訓練Ⅱ加算、 サービス提供体制加算、処遇改善加算、 特定処遇改善加算、 ベースアップ等支援加算 科学的介護推進体制加算 【総合支援事業(予防給付型)】 運動機能向上加算、 サービス提供体制加算、処遇改善加算、 特定処遇改善加算、 ベースアップ等支援加算 科学的介護推進体制加算</p>
<p>住 所</p>	<p>山陽小野田市大字小野田11324番地10</p>

事業開始	昭和59年12月 1日
建 物	鉄筋コンクリート平屋建 508.2㎡ 食堂 訓練室 休養室 浴室(リフト浴・一般浴)

2 サービス提供体制（職員配置）

常勤看護職員1人を、令和5年6月に採用した。常勤介護職員1人が、令和6年3月に産休、育休より復帰した。

令和5年度末職員人数（人）

管理者	1（施設管理者等兼務）
生活相談員	2（介護職員兼務1）
介護職員	
通所介護・予防給付型	7（相談員兼務1、内パート1） （機能訓練指導員・看護職員兼務2）
看護職員	3（機能訓練指導員兼務1、内パート1） （機能訓練指導員・介護職員兼務2）
機能訓練指導員	4（看護職員兼務1、内パート1） （看護職員・介護職員兼務2）
	計 11（デイ専従10、内パート2）

3 サービスの実施状況

（1）利用実績

開園は307日（前年度306日）となった。

利用述べ人数は、5,378人（前年度5,593人）1日平均17.5人（前年18.2人）、利用率は58.3%（前年度60.9%）となり、平均介護度は、1.94（前年度1.69）であった。

新規利用者が29人（前年度9人）、利用中止者は18人（前年度20人）、実利用人数は、66人（前年度61人）となった。

利用中止の理由は、入院2人、施設入所8人、死亡3人、他デイ事業所利用1人、自宅療養4人であった。

介護度別の実利用者割合

令和5年度末現在

事業 対象者	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
6.1% (4.9)	7.6% (4.9)	9.1% (13.1)	33.3% (37.7)	27.3% (18.0)	10.6% (13.1)	4.5% (8.2)	1.5% (0)

※（ ）は前年度割合

別表1 デイサービス利用状況

(2) サービス内容

① 通所介護計画について

居宅サービス計画書に沿って、アセスメントで得られた情報より課題抽出を行い、本人、家族が望む生活に向けての目標設定・計画作成に努めた。

また、利用者・家族への丁寧な説明に心掛けた。定期的に、目標達成状況の把握をし、再アセスメント、介護計画書の再作成を行った。必要時には、ケアマネージャーへ利用者の状況報告を行い、サービス内容や居宅サービス計画の見直しを働きかけた。

② 送迎について

利用者の心身状態や道路状況を配慮し、車種選択し、安全で円滑な送迎に努めた。

デイ所有の車両のみでの送迎が困難なため、他部署の車両を使用することが頻繁にあった。そのために、車両使用については、その都度調整を行った。

認知症等により、身支度が困難なケースも増え、起床の手伝い、着替えの支援、複数回の迎え、通常を送迎時間を遅らせる等の対応を行った。

地域別利用状況

令和5年度末現在（人）

本山	赤崎	須恵	小野田	高千帆	高泊	有帆	厚狭	計
0	2	32	19	8	3	1	1	66

③ 健康状態の確認・管理

来園時と昼食後の2回、バイタル測定（血圧・脈・体温）と体調確認を行った。また、必要時に応じて、パルスオキシメーターにて、SPO2（経皮的動脈酸素飽和度）を測定している。利用中に、安静に過ごす時間を必要とする利用者が増え、ベッドが足りないことがあった。時間を決め交替する等、利用者に協力を得て対応した。

体調が不安定な利用者が増えたことや、服薬管理が出来ていない等により、家族・ケアマネージャー・主治医・薬剤師等に連絡するケースも増えた。

夏季は、脱水症状を起こさないように、小まめに水分摂取を促し、熱中症の注意喚起をした。訓練の前後、入浴後は、適宜水分補給に努めた。

風邪やインフルエンザ、コロナウイルス等の感染症対策として、マスクの着用や手洗いやうがいの励行に努め、体調不良時は、早めの受診をすすめた。また、室内の換気等の予防対策の徹底を行った。また、空気清浄機の使用を行った。

④ 入浴について

利用者の健康状態を把握し、身体状態に合わせた介助方法と、設備を選択してサービス提供を行った。また、看護職と連携し、利用者の皮膚状態の確認を行い、必要に応じて受診を勧めた。

体調不良等により入浴が出来ない利用者については、部分浴（手指・足）・シャワー浴・陰部洗浄・清拭等の代替対応にて、身体の清潔保持に努めた。

座位保持・立位保持が困難な利用者には、リフト浴を使用し、安全に十分配慮して実施している。

主治医や訪問看護事業所の指示により、入浴後に処置を行うことが増えた。

⑤ 食事について

自立支援に配慮し、食事形態の選択と自助具を用意する等の対応を行った。介助にあたる際は、利用者の食事ペースに配慮し、声かけや雰囲気づくりにも努めた。

⑥ 排泄について

清潔な環境づくりのため、随時点検や掃除を行った。

介助においては、利用者の自尊心に配慮しながら、心身の状態に応じたケアに努めた。トイレでの排泄が出来るように、声かけ・トイレへの誘導方法や介助方法を検討し実施した。

ベッド上での排泄介助についてはパーテーションを使用し、プライバシーの保護に配慮して行った。

必要な利用者には、排尿・排便の有無・尿量・便の状態等を把握し、家族、他サービス事業所と連絡を密にし、排泄コントロールを行った。

⑦ 機能訓練について

機能訓練指導員を中心に、全職員で協力をし、3ヶ月毎に自宅訪問し、アセスメントを行った。機能訓練指導員が作成した「個別機能訓練計画書（運動器機能向上訓練計画書）」に沿って機能訓練の実施を行った。

機能訓練の実施は、目的別に少人数のグループで対応を行った。また、マンツーマン対応が必要な利用者については、個別に機能訓練を実施した。

評価については、3ヶ月毎に測定と他職種の意見を聞きながら、機能訓練指導員が行った。定期的に効果測定（10m歩行、握力、片足立ち、前屈等）を行うことにより、利用者の意欲向上に繋がった。

⑧ アクティビティ・行事について

毎日レク担当者が、計画的に利用者間の交流と脳の活性化を目的に、レクリエーションを実施した。

個別の活動については、脳トレやクロスワード、塗り絵等、意欲的に取り組む利用者が多かった。

行事活動については、4月お花見、7月七夕飾り、8月明寿香祭り、10月運動会、12月忘年会、2月節分・豆まきの6回を実施した。実施日数に限りがあるため、利用日でない利用者には、振替利用や、アクティビティの時間を使って作品作り等、個別の対応で参加してもらった。多くの利用者に参加してもらうことができた。

趣味活動については、週1回程度、コーヒー療法や温泉の日、お菓子作りや物作りを行った。希望を募り、追加利用も受けた。楽しい時間を過ごしてもらうことができた。

別表2 行事实施状況

⑨ 口腔ケアについて

来園時に、うがいを行うことにより、口腔内の清潔と感染症予防に心掛けた。昼食前に、口腔体操を行い、口やその周辺の運動機能や、飲み込みの機能が改善できるように働きかけた。また、食後には、うがいや歯磨きを勧めるとともに、必要な利用者には、義歯洗浄等の介助を行うことで、口腔内の清潔保持に努めた。治療が必要な利用者には受診を勧め、治療に繋げた。

⑩ 認知症ケアについて

前年度に比べ、日常生活に支障をきたす症状がある利用者が多かった。毎日のミーティングや職員会議で情報共有に努め、支援を行った。

⑪ 家族介護者への支援について

連絡帳の活用、電話連絡、送迎時の家族との会話やコミュニケーションを密に行い、家族介護者の相談や助言を行った。特に、送迎時の家族介護者の健康状態に留意し、必要時にはケアマネージャーや関係機関に報告を行うことで、協働して家族支援ができるように努めた。

(3) 利用者の状況

別表 3-1 利用者歩行・移動の状況

別表 3-2 認知症利用者の状況

別表 3-3 年齢別利用者状況

4 広報活動について

明寿香園パンフレットとあすかだよりを作成した。あすかだよりは、毎月発行し、利用者や居宅介護支援事業所に配布した。体験利用の方には、事前訪問時パンフレットを使用し、園の説明を行った。写真付きで、園の様子を分かりやすく伝えることができた。

月に1回、経営会議を行い、現状の把握や実施事項等の確認を行った。また、新規開拓のため、居宅事業所へパンフレットを持参し、営業活動を行った。

5 地域とのネットワークづくりについて

ボランティアの受け入れについては、0件であった。

実習生の受け入れについては、4件であった。

別表 4-1 実習生の受入状況

6 安全快適な環境づくりについて

通常の業務の中で、うがい・手洗い・消毒・換気等の、感染症予防対策を徹底した。

床磨き、ゴキブリ駆除などを、外部業者に依頼し実施した。

ヒヤリハットについては、ミーティングで検討し、職員の事故防止への意識を高め、再発防止に努めた。転倒事故が6件、そのうち、医療機関受診は、1件あった。車両事故は、1件だった。苦情は、3件(職員の対応について)だった。

7 職員資質向上と人材育成について

外部研修は、ZOOM研修に件参加した。内部研修については担当者を決め、講師を行うことで、各自のスキルアップに繋げた。

別表 4-2 職員の研修状況

別表1 令和5年度利用状況集計表(データベース) 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計		構成比			
	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	
定員	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	
開園日数	25	27	26	26	25	26	25	26	25	26	26	25	26	26	26	26	25	26	25	24	25	26	26	26	26	26	26	26	307	
延人数	202	222	210	206	198	178	161	188	212	191	222	221	221	222	221	222	221	222	221	191	222	221	221	221	221	221	221	221	2,411	47.9%
介護1	102	137	135	143	117	124	114	133	131	136	151	159	158	158	159	158	159	158	159	136	151	159	159	159	159	159	159	1,582	31.4%	
介護2	52	46	41	42	32	39	65	55	69	46	42	55	58	58	58	58	58	58	58	46	42	55	55	55	55	55	55	584	11.6%	
介護3	31	38	43	42	33	34	37	35	27	28	27	24	24	24	24	24	24	24	24	28	27	24	24	24	24	24	24	399	7.9%	
介護4	1	6	8	8	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	57	1.1%	
介護5	388	449	437	441	386	375	383	418	439	401	447	469	469	469	469	469	469	469	469	401	447	469	469	469	469	469	469	5,033	100.0%	
平均利用者数/日	15.5	16.6	16.8	16.9	15.4	14.4	14.7	16.0	17.5	16.7	17.8	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	16.7	17.8	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	16.3		
利用率 (%)	51.7	55.4	56.0	56.5	51.4	48.0	49.1	53.5	58.5	55.6	59.6	60.1	60.1	60.1	60.1	60.1	60.1	60.1	60.1	55.6	59.6	60.1	60.1	60.1	60.1	60.1	60.1	54.6		
個別機能訓練加算 I 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
個別機能訓練加算 II	29	30	31	31	31	26	29	31	35	34	36	37	38	38	38	38	38	38	38	34	36	37	38	38	38	38	38	380	7.6%	
個別機能訓練加算 I 2	338	397	384	390	330	312	317	353	376	350	395	438	438	438	438	438	438	438	438	350	395	438	438	438	438	438	438	4,380	87.0%	
入浴介助加算 I	323	373	366	368	322	331	319	343	364	336	377	400	400	400	400	400	400	400	400	336	377	400	400	400	400	400	400	4,222	83.9%	
送迎加算	6	6	12	10	9	3	12	14	16	4	15	10	117	117	117	117	117	117	117	4	15	10	117	117	117	117	117	117	2.3%	
サービス提供体制加算 I 1	388	444	435	437	385	374	380	417	438	401	447	476	476	476	476	476	476	476	401	447	476	476	476	476	476	476	476	5,022	99.8%	
処遇改善加算 I	31	32	33	33	34	28	31	33	37	35	38	39	405	405	405	405	405	405	37	38	39	405	405	405	405	405	405	405	8.0%	
特定処遇改善加算 I	31	32	33	33	34	28	31	33	37	35	38	39	405	405	405	405	405	405	37	38	39	405	405	405	405	405	405	405	8.0%	
ベースアップ等支援加算	31	32	33	33	34	28	31	33	37	35	38	39	405	405	405	405	405	405	37	38	39	405	405	405	405	405	405	405	8.0%	
科学的介護推進体制加算	31	32	33	33	34	28	31	33	37	35	38	39	405	405	405	405	405	405	37	38	39	405	405	405	405	405	405	405	8.0%	
実	15	14	14	15	14	13	13	14	15	16	16	15	15	15	15	15	15	15	15	16	16	15	15	15	15	15	15	15	←平均	
介護1	8	10	10	10	12	9	10	11	13	13	13	14	15	15	15	15	15	15	15	13	13	14	15	15	15	15	15	15	11	
介護2	4	4	4	4	3	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4		
介護3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3		
介護4	1	1	1	1	1	0	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1		
介護5	31	32	33	33	34	28	31	33	37	35	38	39	405	405	405	405	405	405	37	38	39	405	405	405	405	405	405	405	1.94	
計	423	483	465	460	408	403	416	449	472	430	476	493	493	493	493	493	493	493	493	430	476	493	493	493	493	493	493	5,378		
延人数	16.9	17.8	17.8	17.6	16.3	15.5	16.0	17.2	18.8	17.9	19.0	18.9	18.9	18.9	18.9	18.9	18.9	18.9	17.9	19.0	19.0	18.9	18.9	18.9	18.9	18.9	18.9	17.5		
合計平均利用者数/日	56.4	59.6	59.6	58.9	54.4	51.6	53.3	57.5	62.9	59.7	63.4	63.2	63.2	63.2	63.2	63.2	63.2	63.2	63.4	59.7	63.4	63.2	63.2	63.2	63.2	63.2	63.2	58.3		
合計利用率 (%)																													利用状況集計	

行事実施状況

令和5年度
(人)

月	行事名	実施日数	場所	参加延べ人数	その他	ボランティア
4	お花見	7	食堂 ダイルーム、 長寿園中庭	36	0	0
7	七夕飾り	5~7月	食堂 ダイルーム	39	0	0
8	明寿香祭り	3	食堂 ダイルーム	42	1 (実習生)	0
10	運動会	3	食堂 ダイルーム	47	0	0
12	忘年会	3	食堂 ダイルーム	55	0	0
R3/2	節分・豆まき	3	食堂 ダイルーム	55	0	0

利用者歩行・移動の状況

(人)

自助具種類	令和5年度		令和4年度	
	自立	介助	自立	介助
なし	12	0	10	5
杖	4	13	4	12
歩行器	8	17	6	14
車椅子	1	11	1	9
計	25	41	21	40
合計	66		61	

認知症利用者の状況

(人)

ランク		5年度	4年度
自立	認知症なし	14	17
I	認知症はあるがほぼ自立	11	9
II	日常生活に支障をきたすような症状・行動・意思疎通の困難さが多少あり誰かの注意が必要とする	28	22
III	日常生活に支障をきたすような症状・行動・意思疎通の困難さが時々あり介助を必要とする	9	10
IV	日常生活に支障をきたすような症状・行動・意思疎通の困難さが頻繁にあり介助を必要とする	3	2
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患がみられ専門医療が必要である	1	1
合 計		66	61

年齢別利用者状況

令和5年度
(人)

年齢別区分	男性	女性	計
～69	0	0	0
70～74	1	2	3
75～79	1	6	7
80～84	4	9	13
85～89	4	12	16
90～94	1	16	17
95～99	1	6	7
100～	1	2	3
計	13	53	66
平均年齢	85.7	87.9	87.5
最高年齢	100	102	102

実習受入状況

別表4-1

令和5年度

月	実習生	実習内容	人数(人)	日数(日)
7	梅光学院大学	介護等体験	1	5
8	山口大学	介護等体験	1	5
8	山口東京理科大学 工学部応用化学科	介護等体験	1	5
8	山口東京理科大学 工学部応用化学科	介護等体験	1	5
			4	20

職員の研修状況

別表4-2

令和5年度
(人)

(外部)

研修会名	期間	場所	参加者
令和5年度総会(1回)・管理者研修会 I (オンライン開催)	令和5年6月15日	明寿香園事務室 (ZOOM研修)	主任生活 相談員 1
現任職員研修会(第2回) (オンライン開催)	令和5年8月24日	長寿園相談室 (ZOOM研修)	主任生活 相談員 1
現任職員研修会(第3回) (オンライン開催)	令和5年9月13日	長寿園相談室 (ZOOM研修)	生活相談員 兼介護職員 1
現任職員研修会(第4回) (オンライン開催)	令和5年10月26日	長寿園相談室 (ZOOM研修)	主任生活 相談員 1
令和5年度通所介護事業所担当者講習会	令和6年1月12日	山陽小野田 地域交流センター	機能訓練指導員 兼看護職員 兼介護職員 1
特別研修会 (オンライン開催)	令和6年2月25日	長寿園相談室 (ZOOM研修)	主任生活 相談員 1
令和5年度総会(2回)・管理者研修会 II (オンライン開催)	令和6年3月13日	長寿園相談室 (ZOOM研修)	主任生活 相談員 1
2023年度LIFE研修会	令和6年3月21日	長寿園相談室 (ZOOM研修)	主任生活 相談員 1

(内部)

(人)

研修内容	期間	場所	参加者
倫理及び法令遵守に関する研修	令和5年5月25日	明寿香園 食堂	8
接遇に関する研修	令和5年6月22日	明寿香園 食堂	9
非常災害時の対応に関する研修	令和5年7月27日	明寿香園 食堂	9
接遇に関する研修	令和5年8月24日	明寿香園 食堂	8
認知症及び認知症ケアに関する研修	令和5年9月28日	明寿香園 食堂	8
感染症・食中毒に予防蔓延防止 に関する研修	令和5年10月26日	明寿香園 食堂	9
プライバシーの保護に関する研修	令和5年12月28日	明寿香園 食堂	9
身体拘束の排除に関する研修	令和6年2月22日	明寿香園 食堂	9
高齢者虐待防止に関する研修	令和6年3月28日	明寿香園 食堂	9

令和5年度 長寿園居宅介護支援事業報告書

令和 5 年度 長寿園居宅介護支援事業報告書

令和 5 年度は管理者の交代、新任職員の配属があり新体制でのスタートとなった。新任職員の育成に重点を置き、担当利用者へ不利益なくサービスが継続して提供できるよう教育、指導を行った。また、実務研修見学実習で実習生 1 名を受け入れ、ケアマネジメントプロセスの指導を行った。

特定事業所加算については、義務付けられた要件をクリアしながら継続して算定している。

研修や会議はリモート、会場開催共に積極的に参加し、自己研鑽に努めた。

居宅支援の業務については、認知症による問題行動の状態把握、対応、老老介護世帯の支援、困難事例の受け入れ、終末期の支援等、その支援内容は多岐に渡るが、関係者間での連携や、適切なサービスの調整に努め、利用者やその家族が望む在宅生活が、その人らしく送れるように対応した。

1 事業所の概要

名 称	長寿園居宅介護支援事業所
住 所	山陽小野田市大字小野田 11324 番地 10
事業開始日	平成 12 年 4 月 1 日

2 サービス提供体制

居宅管理者	1 人 (主任介護支援専門員兼務)
主任介護支援専門員	1 人
介護支援専門員	2 人

3 サービスの実施状況

	令和 5 年度			令和 4 年度		
	居宅	1117	1330	居宅	1170	1378
居宅サービス計画作成件数	213			208		
認定調査件数	1			1		

居宅サービス計画の作成件数は、前年度より 48 件減少している。月平均件数では、93 件となっており、当事業所が目標に挙げた担当件数（月平均：95 件）をクリアすることができなかった。

介護予防サービス計画の作成に関しては、前年度より5件増加し、月平均件数は18件であった。目標に挙げた担当件数（月平均：18件）をクリアすることができた。今後も各ケアマネの業務の実情等を配慮しながら、積極的に受け入れを行っていく。

認定調査については基本的に市の調査員が実施しており、山陽小野田市の調査は行っていない。島根県邑南町より認定調査の依頼があり、1件実施している。

別表1 居宅サービス計画・介護予防サービス計画作成実績表

4 会議等への出席

地域ケア会議・事例検討会	9回
ケアマネジャー連絡会議	12回
地域包括支援センター運営協議会	2回（WEB会議）
在宅医療・介護連携推進研修会	2回（WEB会議）
主任介護支援専門員連絡会	5回
主任介護支援専門員連絡会（事前打合せ）	4回

5 事業所内会議の開催

居宅会議（サブセンター参加）	12回
定例会議	36回
虐待防止委員会	4回

6 研修会参加状況

研修名	年月日	場所	参加者
令和5年度ケアマネジャー研修会	R5年4月26日 R5年8月30日	ZOOM研修	1人
介護予防及び介護予防ケアマネジメント新規委託予定者研修会	R5年5月18日	山陽小野田市役所	1人
山口県介護支援専門員協会研修	R5年8月30日	ZOOM研修	2人
山陽小野田市介護支援専門員連絡協議会研修会	R5年7月20日	不二輸送機ホール	2人
山口県介護支援専門員専門研修（更新研修Ⅱ）	R5年7月～10月	山口県セミナーパーク	1人
主任介護支援専門員スーパービジョン研修	R5年6月14日 R5年8月21日	山陽小野田市役所	1人

管理者及び介護支援専門員研修	R5年7月24日 R5年8月10日	ZOOM研修	1人
プラスワン無料オンラインセミナー	R5年5月22日 R5年7月28日 R5年9月14日	ZOOM研修	3人
認定調査員研修	R5年4月29日	ZOOM研修	1人
主任介護支援専門員要件研修	R5年8月25日 R5年8月16日 R5年9月4日 R5年9月10日 R5年10月4日	ZOOM研修 宇部市役所	1人
介護予防ケアマネジメント向上研修	R5年8月22日	山口県セミナーパーク	1人
認知症サポーターステップアップ講座	R5年8月16日	須恵地域交流センター	2人
感染症予防対策委員会園内研修	R5年9月21日	長寿園	3人
成年後見制度における意思決定支援研修会	R5年12月8日	山口県健康づくりセンター	1人
高次脳機能障害支援アセスメント研修	R5年12月10日	ZOOM研修	1人
資質向上研修会	R5年12月22日	小野田地域交流センター	3人
ひきこもり支援者研修会	R6年3月7日	市民館	1人
「適切なケアマネジメント手法の手引き」解説セミナー	R6年3月21日	ZOOM研修	3人

7 実習受け入れ

実習名	日にち	人数
山口県介護支援専門員実務研修実習	R6年 2月13日 2月21日 2月28日	1人

別表 1

令和5年度 居宅介護計画書作成実績

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	比率		
	作成件数		作成件数		作成件数		作成件数		作成件数		作成件数		作成件数		作成件数		作成件数		作成件数		作成件数		作成件数				合計	比率
	当月	月遅	当月	月遅	当月	月遅	当月	月遅	当月	月遅	当月	月遅	当月	月遅	当月	月遅	当月	月遅	当月	月遅	当月	月遅	当月	月遅				
介護 1	49		49	1	52		53	1	57	1	54		54		55		54		54	1	52	1	53		641	57.4%		
介護 2	14		17	1	18		19		18		17	1	17		16		19	1	20		20		20		218	19.5%		
介護 3	12	2	11		13		9		10		9		8		10	1	12		9		9		11		126	11.3%		
介護 4	6		6		6		6		7		7		8	3	7		8		10		9		9	1	93	8.3%		
介護 5	4		5	1	4		3		3		3		3		3		3	1	2		2		2		39	3.5%		
小計(A)	85	2	88	3	93	0	90	1	95	1	90	1	90	3	91	1	96	2	95	1	92	1	95	1	1,117	月平均 93		
		87	91	93	91	96	91	93	92	98	96	93	96	93	96	93	96	93	96	93	96	93	96	93				
支援 1	4		6		6		5		5		5		5		5		6		6		6		6		65	30.5%		
支援 2	8		8		8		8		9		10		11		12		12		12		13		14		125	58.7%		
事業対象者	2		2		2		2		2		2		2		2		2		2		2		1		23	10.8%		
予防介護	14	0	16	0	16	0	15	0	16	0	17	0	18	0	19	0	20	0	20	0	21	0	21	0	213	月平均 18		
小計(B)		14	16	16	16	16	15	16	16	17	17	18	18	19	19	20	20	21	21	21	21	21	21	21				
合計(A+B)	101		107		109		106		112		108		111		111		118		116		114		117		1,330	111		

令和5年度 おのだ在宅介護支援センター事業報告書

(山陽小野田市地域包括支援センター サブセンター)

令和5年度 おのだ在宅介護支援センター事業報告書
 (山陽小野田市地域包括支援センター サブセンター)

おのだ在宅介護支援センターは、山陽小野田市地域包括支援センターサブセンターとして、須恵校区・小野田校区を担当しており、市の事業計画に添って業務を行った。

令和5年度は、感染対策を行い訪問し、高齢者の生活状況や意向を把握し、介護予防に向けた生活支援を行った。また、必要な方には各手続きやサービス調整を行った。

重点目標である「在宅高齢者の課題や要望を把握し、自立支援・介護要望に繋がる支援を行うように研鑽していき、市の事業計画に基づき、業務遂行する。」は、各種会議や研修会に参加し、情報共有に努めることで、各機関との連携を図り、業務遂行することができた。

介護予防に必要性を感じている方は多いが、通いの場、健康体操、公民館活動等の情報を提供するも、コロナ感染者数が減少しない状況下では、参加者は少なかった。

1 施設の概要

名 称	おのだ在宅介護支援センター		
住 所	山陽小野田市大字小野田11324番地10		
事業開始日	平成3年1月1日	サブセンター委託事業開始	平成18年4月1日
建 物	鉄筋コンクリート造平家建	8.68㎡	相談室 1
事 務 室	特別養護老人ホーム長寿園内	在宅支援室	

2 サービス提供体制（職員配置）

センター長(長寿園園長兼務)
 介護支援専門員 1人（山陽小野田市地域包括支援センター在籍出向職員）

3 サービスの実施状況

(1) 介護予防・日常生活支援総合事業

① 介護予防支援事業 要支援1・2 事業対象者

R5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実人数
プラン作成件数	6	0	0	2	3	4	4	4	3	3	3	8	40	72人
給付管理件数	53	54	57	56	52	55	48	53	53	51	48	53	633	
												R4年度	プラン件数 49	73人
													給付管理数 646	

令和5年度に担当した介護予防支援事業給付管理数は、633件で、月平均52.8件（前年度54件）であった。

サービス利用した実人数は72人（前年度73人）であり、介護予防サービス支援計画書作成件数は40件（前年度49件）となった。新規担当人数は、前年度と同じであったが、要支援認定の更新の方が減少し、今年度は計画書作成数が減少した。

新規に担当した人数は19人、担当を終了した人数は22人。終了の理由は介護給付にて担当変更16人、入院入所2人、サービス利用終了は3人、

非該当 1 人であった。

利用したサービス内容別では、訪問介護 6 人、通所介護 53 人、通所リハ 7 人、福祉用具貸与 27 人、訪問看護 1 人。福祉用具と訪問介護、福祉用具と通所介護など、複数のサービスを合わせて利用した人数は 19 人であった。

調整に関わったサービス提供事業所は、訪問介護 8 ヶ所、通所介護 17 ヶ所、通所リハ 8 ヶ所、福祉用具 8 ヶ所、訪問看護 2 ヶ所、短期入所 2 ヶ所、訪問入浴 1 ヶ所であった。

② 一般介護予防事業

地域で、継続して介護予防が取り組める「住民運営通いの場」への支援では、感染予防の換気、手洗い、マスク使用等を伝え、介護予防資料の配付や、百歳体操の指導等で年に三回の開催支援を行った。

(2) 包括的支援事業

① 総合相談支援事業

相談内容は、病院から退院する患者の在宅生活支援相談や、認知症高齢者の親族からのサービス利用や介護についての相談、民生委員からの在宅高齢者の相談があり、訪問等で生活状況を確認した。

実態把握の件数

R 5 年度	1 期	2 期	3 期	4 期	合 計
実態把握 件数	1 3 3 件	1 2 9 件	1 2 8 件	1 2 5 件	5 1 5 件
				R 4 年度	5 6 7 件

② 権利擁護業務

認知症等により、金銭管理、生活上の手続きやサービスの選択等が困難な高齢者へ、地域包括支援センターや他関係機関と連携を取り、在宅生活

が支障なく継続できるように支援した。

4 会議出席

地域包括支援センター連絡会	10回
地域ケア会議事例検討会	3回
山陽小野田市民生児童委員会(第2区)	8回
長寿園居宅支援事業所居宅会議	12回

5 研修の状況

研 修 名	年 月 日	場 所
県地域包括・在宅介護支援センター協議会 総会・研修	R5. 5. 10	ZOOM研修
買い物×リハビリによる新たな介護予防・生活リハビリ	R5. 7. 27	ZOOM研修
地域包括支援センター 地域ケア個別会議	3回/月	ZOOM研修
資質向上研修 適切なケアマネジメントの 手法を学ぶ	R5. 12. 20	ZOOM研修
スーパービジョン研修 山陽小野田市地域包括 支援センター	R5. 5. 19 R5. 7. 21 R5. 11. 17 R6. 1. 19	山陽小野田市役所
在宅医療・介護連携推進研修会	R5. 6. 22	ZOOM研修